2026 年 1 月 6 日

トヨタテクニカルディベロップメント株式会社

2026 年 社長年頭挨拶

明けましておめでとうございます。

今年の干支は「午（うま）」。生命力あふれる馬のように、課題解決を加速させる一年にしたいと願っています。今年、当社は創立 20 周年という節目を迎えます。社会の動きや当社の歩みを振り返り、次の成長に向けた一歩を踏み出す年にします。

1．2025 年の振り返り

昨年は、お客様から多くの評価をされ、事業の幅を広げる取り組みを進めました。IP(知的財産)事業では、AI Samurai 社の参画により、AI を活用した知財ソリューションを大幅に強化しました。特許調査や出願戦略、権利化支援において、AI による高度な分析を組み込むことで、従来以上に精度の高い提案が可能となり、お客様の知財戦略を包括的にサポートできる体制を整えました。計測シミュレーション事業では、アカウントマネージャーの活動を通じて統合ソリューションを強化し、デジタルツイン商品「DiIMo（ディーモ）」や電池計測技術が展示会で高い評価を得ました。さらに、社会へのデジタル・知財教育や団体支援などの社会貢献活動を継続しました。これらの顧客価値を創造し続ける経営・自己革新を評価いただき、「日本経営品質賞 優秀賞」を受賞することができました。これは、顧客価値を創造し続けるための自己革新能力が高く評価された証です。

2．社会と環境の変化

世界では政治・経済・技術の大きな変化が続いています。第 2 次トランプ政権による相互関税導入、日本の憲政史上初の女性総理による新政権発足、国際紛争の継続など、地政学的な動きが加速しています。大阪・関西万博の開催や、中国製 EV の東南アジア進出、一方で HV（ハイブリッド車）への再評価など、産業構造も変化しています。生活面では物価高騰が続き、インバウンド旅行者は 4,500 万人を超え、ホテル代の高騰やオーバーツーリズムが課題となっています。さらに AI 技術は急速に進化し、プロンプトを使う生成 AI から、AI 同士が協業する AI エージェントやフィジカル AI の時代へと移行しつつあり、モビリティやロボットの世界を大きく変えています。

一方で、自然界では人間活動の負の側面が表れ続けています。山火事や干ばつ、洪水など異常気象が頻発し、日本の四季も失われつつあります。生態系の変化も顕著で、自然との共生が問われる時代になっています。

3．2026 年の重点方針

社会と環境の変化に対応するため、今年はチーム力を極限まで高めることを目指します。全社で集合知性を活かし、部門や階層を超えた全方位のコミュニケーションを促進します。そして、一人ひとりが自分事として行動する文化を育みます。

4．最後に

20 周年を迎える今年、私たちは変化に挑み続け、未来に向けた価値創造を全社一丸で加速させます。

【トヨタテクニカルディベロップメント株式会社　会社概要】

設立：　2006 年 4 月

所在地：　愛知県豊田市花本町井前 1 番地 9

代表者：　代表取締役社長執行役員　香川 佳之

事業内容：　**IP（知的財産）事業**

調査・技術動向解析、外国出願・権利化（特許・意匠・商標）、翻訳・通訳

計測シミュレーション事業

計測機器・装置の開発／製作、装置・設備の企画／計画立案、

モデルベース開発ソリューションの提案／提供、計測機器の校正／検査／修理、

次世代事業の開発支援

出資比率：　トヨタ自動車株式会社 100%出資

URL：　https://www.toyota-td.jp/